



## 河小だより

校 区 内  
全 戸 回 覧

4月22日発行

## 創立147周年 31年度スタート！

～新しい時代に向けて更に一步前へ～

校長 川上 治男

4月1日に、平成に変わる新しい元号「令和」が決まりました。奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集「万葉集」を典拠としたようです。

「しよしゆん れいげつ初春の令月にして、きよ かぜやわら気淑く風和ぎ、きようぜん こ ひら梅は鏡前の粉を披き、はいご こう かも蘭は珮後の香を薫らす」(厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。)という意味のようです。

新しい元号がスタートすると共に、平成31年度河原田小学校も、23名の新1年生を迎え、児童数161名でスタートしました。

「平成」から「令和」へ、河原田小学校は今年度、創立147周年を迎えます。

この地で生まれ、街に育てられ、もちろん、この学び舎で、たゆまぬ努力を重ねてこられた多くの先達の皆様が、歴史と伝統を重ねてこられたのだと思いますが、それにしても147年の歴史の重みは、私たちに計り知れない奥深さも表しているような気がします。



1年生を迎える会 (H31.4.12)

子どもたちにとっても、河原田小学校で学ぶことの価値や意義を考える、あるいは、心に刻む、よい機会になるはずですが、母校を愛する気持ちは、どこの学校の子どもたちであろうと育まなければなりません、より深くその思いをもってもらいたい、学び舎への尊敬の念をより強くいただいてもらいたい、その導きとなるような、本校が歩んできた足跡を、子どもたちに知ってもらうことができたら、きっと、子どもたちにとって、内容の濃い、印象に残る1年間になるのではないかと思います。

始業式では、学校教育目標(よく学び よく遊ぶ たくましい子)をもとに、「相手の話をしっかり聴くこと」「分からないことはそのままにしないこと」「相手の立場になって考えること」「いろいろなことにチャレンジすること」「体と心を鍛えること」「本物は続く、続けると本物になること」等について話をしました。

新しい元号「令和」の意味するように、河原田小の子どもたち一人一人が、それぞれの花を大きく咲かせることができるよう、保護者・地域の皆様とともに、未来に踏みだした子どもたちへの「更なる一步前へ」を応援していきたいと思います。よろしく願いいたします。